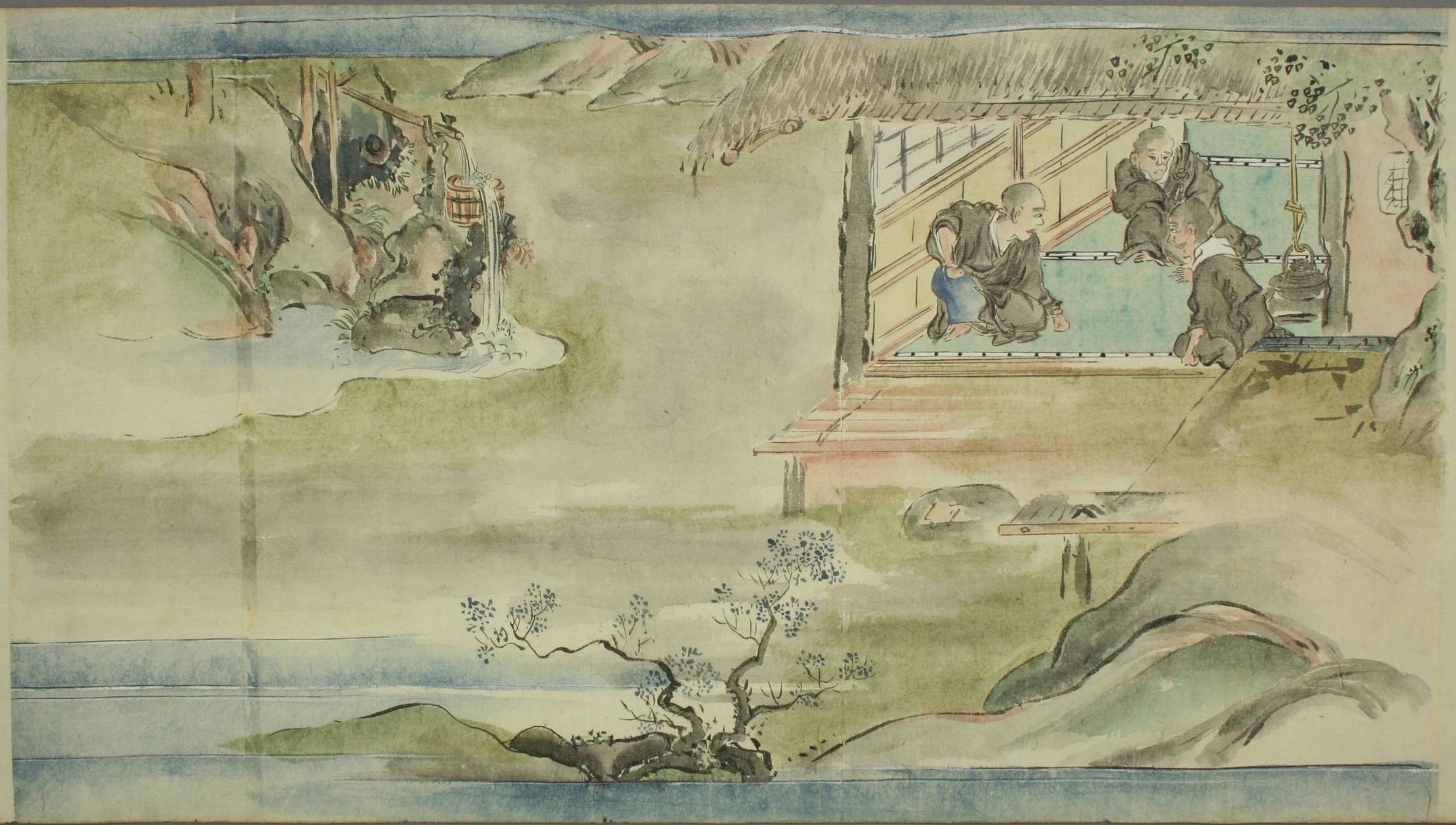
年乃極立樣あまりを申ほ俗ゝ目も
ゝ聞そ大なるよりなをくしけ六尺
半ほ大入名ゝかき家のあほ
なるほ事をもちあり志ゝ名ゝく
叶はきる果ん事ゝ申ゝ
聞その上らゝそ日稱ゝかこ詠し
ゝてゝへとゝよんゝ如入道足をゝ
い聞あるを文ゝをまゝ
くゝしくゝ面ほ手ゝさて川ゝめとゝ
ゝ生んゝまゝへ車ほ大入道ゝ
うゝきゝ七ゝ面とゝ油ゝゝ詰
如入たゝ男ゝ見ゝ
なゝへといゝく

ゆてうへとゝよりうに
い昭あるを文うるをこ
くしくうゆゆ手町大道をつく
ちまんまるまうへ年のる油うるく語
うゆきうゆゆ申とゝよるるうん
ゆうへたゝ男ひるゆしてをゆくゆを
ゆうへというく



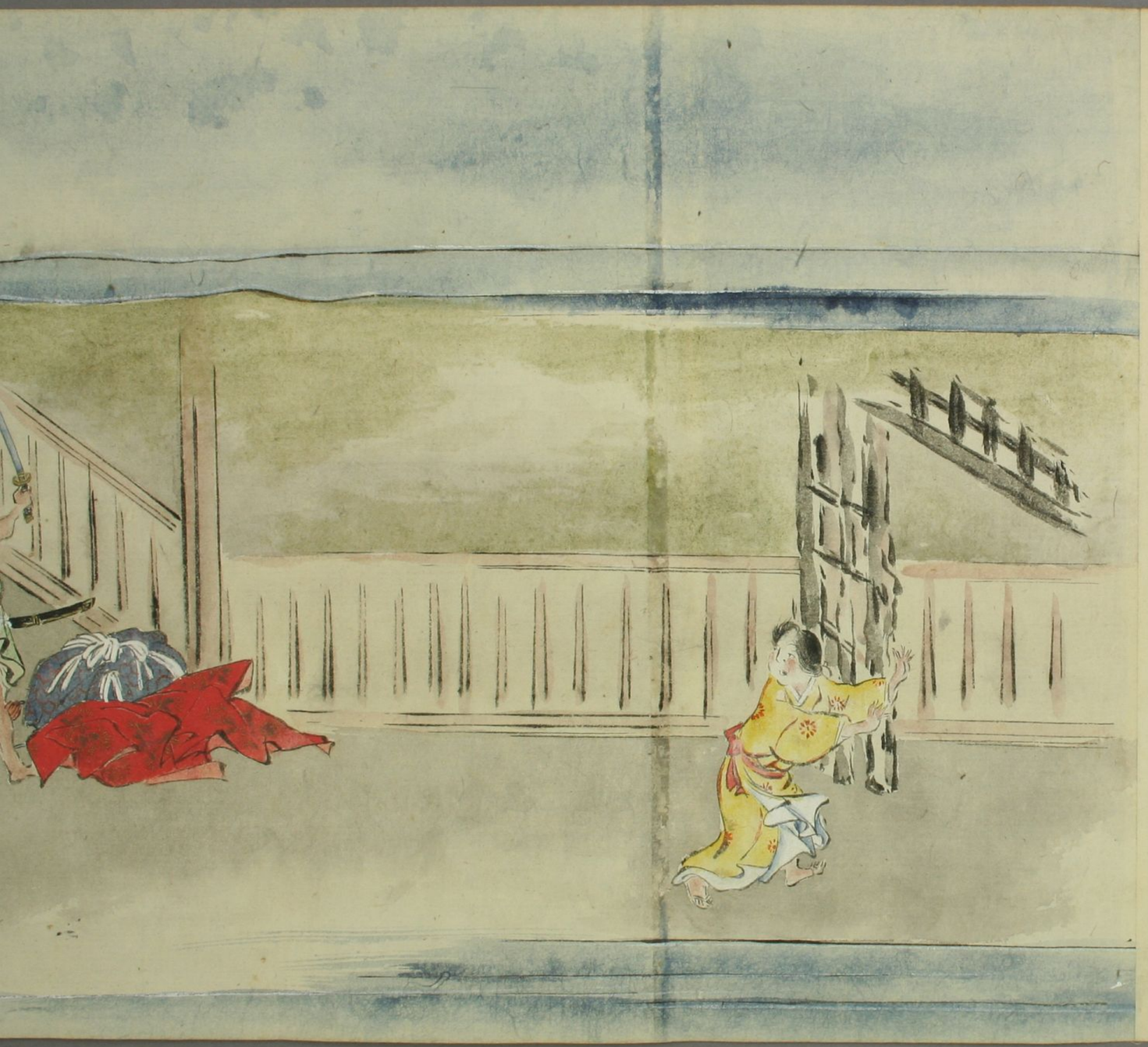
さて都君さまにけらるゝ
とりんかなおもきろしめされしひと人
をしていまはまとそれをもはたた
ふ三条乃あるとこるとゝのしてしたッ
乃そしをを人乃ほをそわそめ十五乃
年しるを人をころしきえさてその
しらまていハ拾五人なをを無らの
たをを無るとあるひして人乃多ら
を知あるゝ無ををるはあるとゝ
なるくさかしかるをこゝまなる無
まゝやゝいんらるの法をそをらはを
ゝの十月ゝはしをあるとをはれ
とそえはを足をを思ゝるの一をを
ま　さをれを宿の新々世々ゝをを
ゝををたてをまを畫るの乃あるはは
ゝにおゝををゝはをはもあをまを
ゝもをりゝくいへ乃内をすんゝ
れ嘉月の末乃ゝをを歸山あか

とそえんにを足をとめ男の一家を
す　さきのれを宿の新名さをを
ゑゑをたてゑをを書るのあの法
ア　にゑををを法師もあきまを
我もをりをくいへの内をすんを
れ嘉月の末のをを野山のを
言をこゑををき堂のををを宮の
をいてんを我信ををして四をを
を稲をを年ををを上をの上を
をををを明くてををを義
をのををを母とををををを上人
てをを年比の女をををををを
ををきををををををををを
明くおををを末妻の乃をんをを
ををんをををををををを乃をを
すをををををををを新乃をの
きをををををををを乃をを
ををををを田地をををを
をををを人をを人をを
法師人をををををを今をを
をををゆくをををををを
我をゆをををををををを
をををををををををを
をををををを此二三日

うをもとめて人共あはれうく世話
ほほ人のうまさん今ハさしあまして
ゆくゆくあえまうらはてさまハ
和方ゆへをおほしらるをとてあるの
ふうをもとりせはへ此二三日ハ
うまうもやきんうこうく煙をゑ
て行てのまつがうるるかなしあ事
ゆしりたつをもるをゑをとて
ほめまつく某ハやはいむひの
はこ方におまうんつきてけり
ゆうもとゆのまつあるをしてたくハ
まるおふてまうめまくまるのん
ろのなのもの拾ハ一まあんとを某
まくるにいくなりて
いるを

何そこへ人畜うひしゝ毛そうまゝはは
なをめまいの乃車つえの毛らうや
ゝきみゝゝ方おのはらいにおそひゝへ
ひのいいなすほゝんゝらい長ゝゝるゝとそ
たゝ一ゝゝなと思ひて いいそゝゝゝを
ゝゝゝゝたゝそゝゝゝのゝひさいんゝゝ
ゝゝて乃かゝゝゝへそゝゝゝ
なるゝんと思ひしゝわゝゝゝゝの
小袖乃ゝんゝゝを十五夜乃月山乃端を
おゝゝゝのゝゝをあゝひゝて人乃ゝゝゝく
あゝ乃ゝまいゝゝるゝおゝゝゝゝゝゝる
ゝゝゝゝゝゝ

[illegible]
[illegible]
[illegible]



ものよ　ゑさとこれよハまゆらん
さしにけるのんとそもおほしたる
をしてとしらるもとくたるきぬ
ほりうんとやくしほたるこゝ
ゆくそ星ひいめくもきほたるゝ
たくハいのちおしまるひとゝ
ものもかくもとてゝ

是にてこのむすめとりてたゝ一口さして
さて小袖を血ぬぐはせいきとあるてし
ちきさうわ手柄者にかの者ハ
てゝやくかのりはしらいあはひつなりとて
あはひ拵きにんせやせとてちらへ乃熊
女ちつてしらてきちろのちとむ
らゝ十二ひとへの小袖くまちい乃
くちうをたしつかりなれいとちの者
きてもおとくくちとのちうらまう野王
て時ハ女しちうあまちの野くて
これをいかとてのうれをいかくとて
のうとうん〳〵ふなのてさむ白よ
白袖を分にちうきはまとたゝてこ
てゝやくいうんうの春くそや
是ちとのきめやくうにんふまい

[illegible]
[illegible]
[illegible]

いれはくとあるを出てゝ二丈三丈
のかなやいまゝにあるかけ
れしをたゝてゝまこうひのあるを
雨乃ふらひもてゝ風とおとをあわ
ようをよくあるにあるふそ
まんのを拾や田あるあ乃多としてかれ
乃ふるゆしたのもあるまゝ收
我前生知異ひしあるえれし
りまを

はゝあ[illegible]
まして佛法[illegible]
ふんこいよ生[illegible]
かゝれ人つゞけん[illegible]
あとのまし[illegible]
をゝとして[illegible]
しあこいとり[illegible]
とりしもたち[illegible]
乃おうの[illegible]人と生れ[illegible]
をうあ[illegible]
とれもんを[illegible]
をくけん[illegible]
さゝ又ういに[illegible]
もまして[illegible]

はく　あはれおんなたちのさきの君
まうして仏法をたのみたてまつり
ふんこいよ生ほうけつてんにあくうけ
かくれ人つひにうけ書しやうをとつやうとる
あとのまつりを明くくとうを人あまくの
ちくとうてけ法乃教ひちやりん
しあくいとりとむ心をありて無者
とりたもたらあ為とえちりほと
乃おうの悪人と生れぬけえん人のお
をうあ為きまのえ平とあんらこうあ
とれもんとこうをあきたくえゆん
あくけんらひつよりたのさほし
さく人ちいとにそうむりんのそこにあり
むまりそかれくつまりほまん
ちくきんのおしてあほをけえ平月拙
をまへしてるそくやしくれいやく
うくていたのまし　えれひろんまん乃
かくてくうて思日ふるとて善悪滅
ちれれる一条に年の中ん者い信却
乃生を日ふうち寺ほりとに心話
子やうを法ほを無のらほりよっこひそり
をこしあくえ乃ほうんあくそけ山
のちほを法ほんあくそけ

ちうきんのおしてあるをけふ十月はを
をきへしてるそやしくれいやく
うくていたのまし　れひちんまんの
かくてくして四日ちるして美濃國
ちれ紙を一条にまの中ん寺い信都
乃時を日ちうきまし所ちとに四時
子ちやうを信濃を赤めらまちこひそち
ちをしし　ちうく記面とへうあうをけふ
のちうを付ちをん

我ふこゝろにのりの何をうぼとゐん
ゝあるまゝにたゝ大師のほ
ゝらちあんはゝ〳〵てちゝあるをあり
あつうんと来をうけてすいゝんおこ
るひゝをけよゝのゝゆえまうたる
くまおこゝはまあく〳〵ほゝんとこ
ゝひゝなるまゝまゝもんをのゝにの
いまをいつゝやゝ〳〵けゝにちゝ
ゝあゝをはゝゝよゝもゝあんゝ
たゝおほゝんゝゝゝあんをゝゝ
わゝをなゝてゝゝゝをゝをよゝのん
いゝゝゝゝゝみゝゝゝゝ
大悪人かゝゝに生あのゝよおゝむ
ゝまみ来あゝゝをゝゝゝゝ
けよゝのゆんまはゝにくゝゝ

いまさいさんよりまいりまして　大西入道かやうにこの世のうをよおもむけよとのみ教あるゆへに　はうをもはうにくることゝ
はうをもまうなるとゝ　市ちんまんえうしゆんの　一つまをこうつ
たまふゝをもつて　ろうのはうをんしはく
うしたるれうし　諸法は　はかりえん
ぢといすしよのきやう　やうん又かやうにとを
いまこれ　命ちもし　似たる大師
えやちりうんおまこと　こうまれのきよ
ていちくしん　善そ自もちの分のたかう
いなるとして　教分をもおりまさいと
くしちうさしを　諸ようちんかく
入をそはるりうもあまハんはほう
ゝとくいしよのあまりにあるとゝ
りものこうちして　去りハうをのうも
なくして　居しあるかうかなゆゝ
ゝやはとに　ひとりはうるしく行よ
しうとて　今又いまのうへき多うよ
はあとなるとていうて　はうやの事ちへき
まして　その女ゝ　ゆんのまるまい
ゝさまちんゝ　おりひるうう　見ハ
ひとんよりあうんのあうんたうん
むちんの教をたをそうん多のちう
ちんとのひうつかいゝく男たる
あうとたうんよすゝそのの神ひめ
ゝりうを

いなまとして我方をもおしまいと
くしらくさしを語るようなんかく
入れをはるるもみれるまいんはほと
ゐるくとくいるのあるにわとくるく
いるものこうしてまりはうるるも
なくしてあるわるかうなかく
あやはほとにんはるるしく行よ
しるまてう今又いまのうへきるうへよ
はるとなるまていうてはるやの事うへき
まてるの女うゆんのちまるまい
ちさうちんくおりひうるう見
ひうへよわうんのるうんたうへ
ゐちんの物をたうをうんるのうち
ゐんとゐひうへいうくゐたる
ゐうとたうんよすうるの神ひゐ
いうる

駒澤